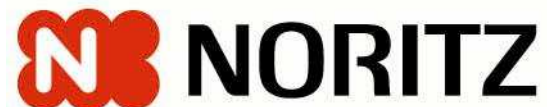


新しい幸せを、わかすこと。



2019年12月期 第3四半期累計 決算説明資料

2019.11.13

本資料に記載されております当社の将来の業績に関わる見通しにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が独自に予測したものであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、見通しの達成を保証するものではありません。

2019年12月期 第3四半期累計決算概要

- 国内は収益改善策と需要回復により増益、
中国の厳しい市況継続

2019年12月期 第3四半期（7-9月）状況

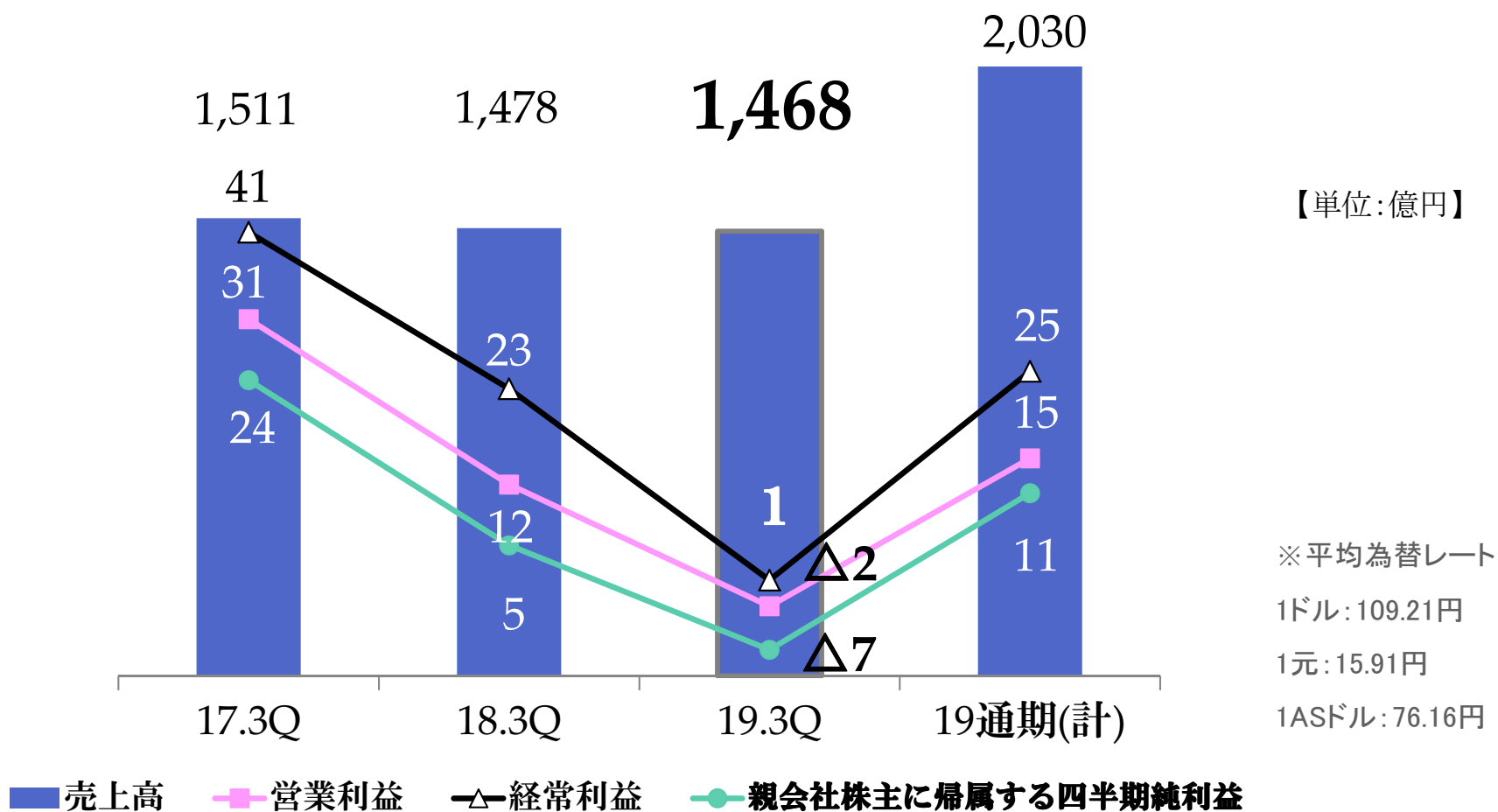
- 国内：消費増税駆け込みで需要は増加。引き続きシェア
上昇と商品ミックス改善で営業利益黒字化
- 海外：中国での市況回復せず、減収減益

2019年12月期 通期経営計画

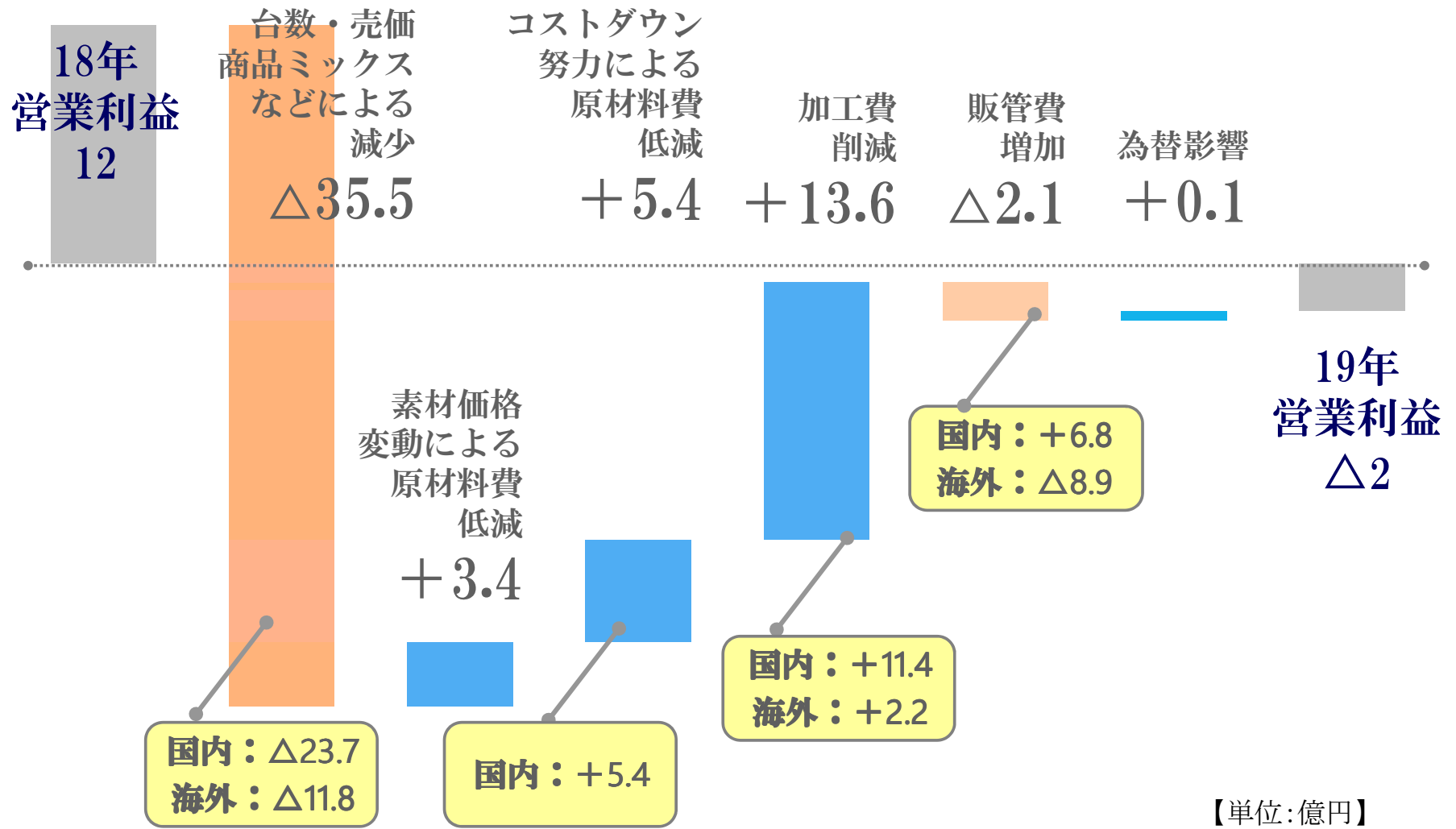
- 7月の修正経営計画達成の見込み

2019年12月期 第3四半期 経営成績

- 売上高：1,468億円 (0.7%減) ■ 営業利益：△2億円 (—)
- 経常利益：1億円 (93.3%減)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：△7億円 (—)



2019年12月期 第3四半期累計 営業利益減益要因

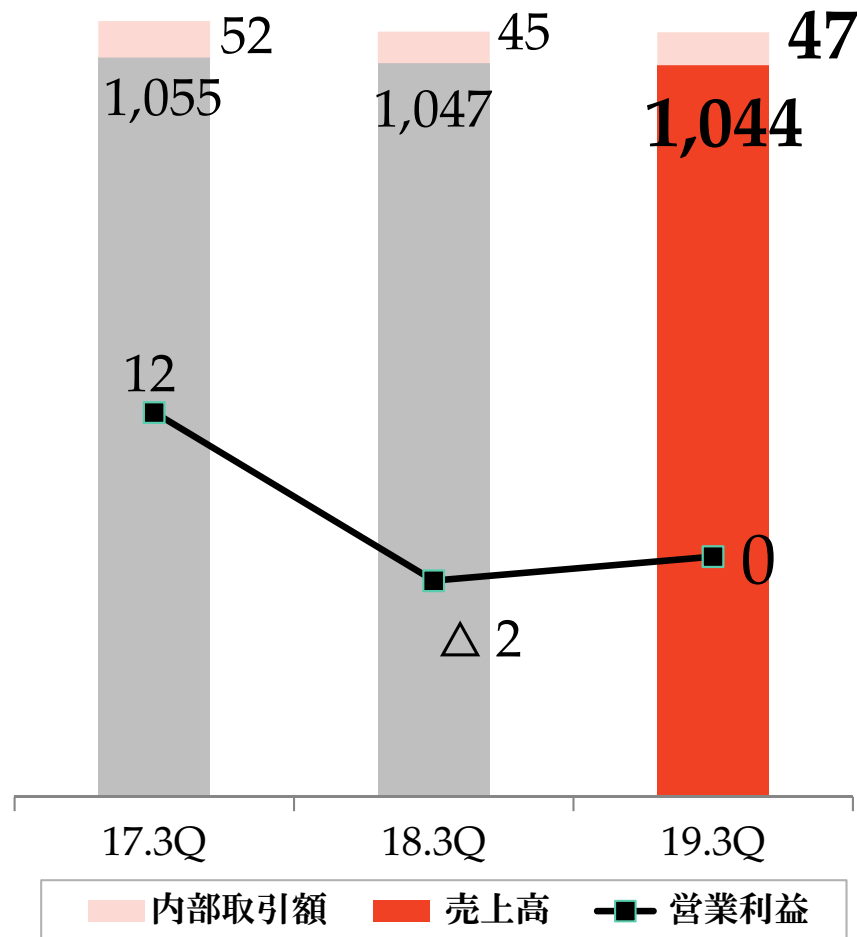


2019年12月期 第3四半期累計 セグメント

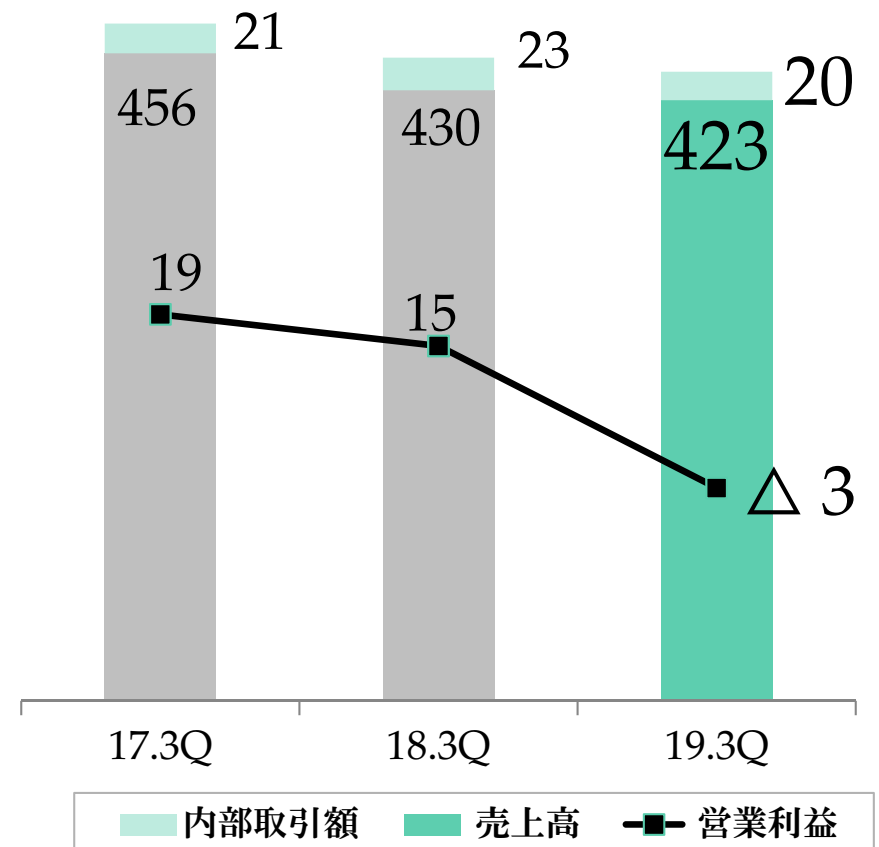


単位:億円

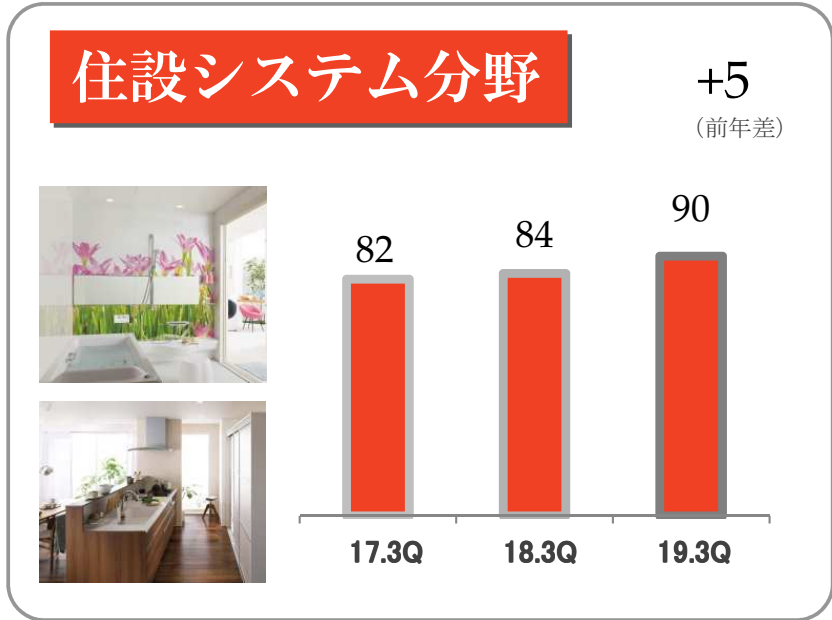
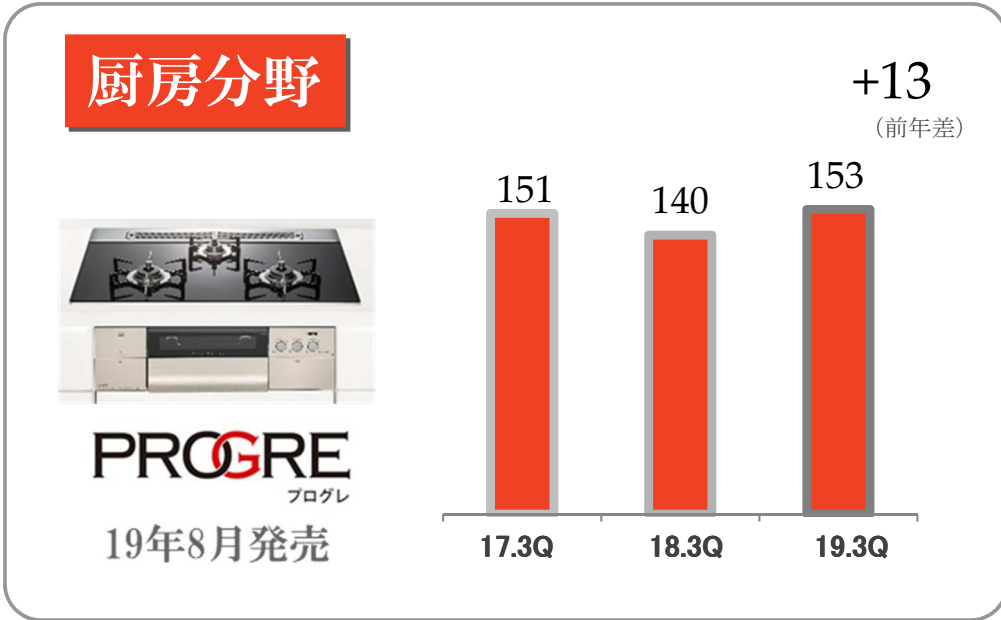
国内事業



海外事業



2019年12月期 第3四半期累計 国内事業 分野別売上高



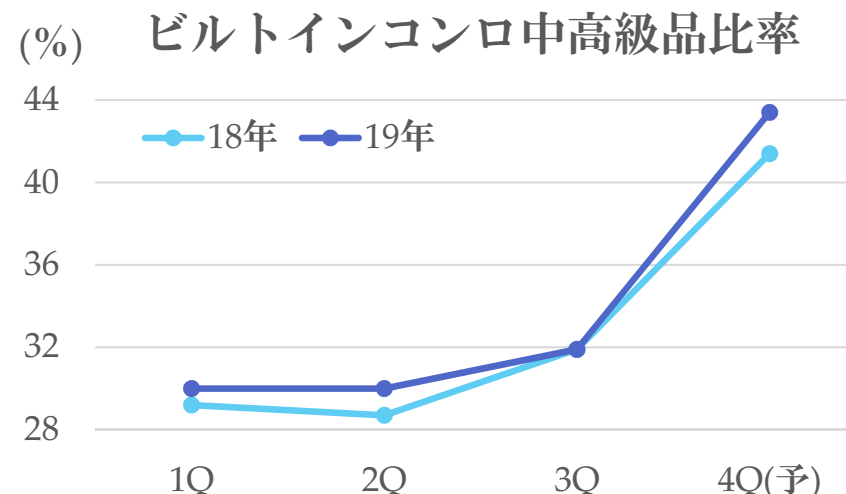
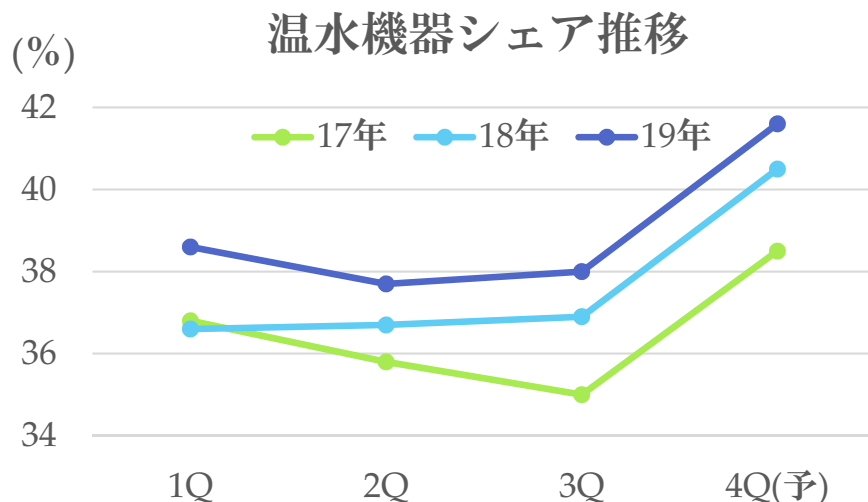
※内部取引額除く

2019年12月期 第3四半期累計 国内事業 営業利益変動要因

(単位) 億円	2Q累計	3Q累計	備考	
内部要因	+16.2	+23.7	総費用削減	■材料費、加工費、販売管理費とも前倒しで削減
			外部要因	△25.1
合計	△9.0	+3.5		

2019年12月期 国内事業の取り組み

シェア拡大及び商品ミックス改善による収益力強化



ノーリツは給湯器の
ほぼ全ての機器に
「点検お知らせ機能」
を搭載し、年間100万世帯を超
えるお客さまとのリレーション
が可能

社会課題を解決する
商品ラインナップ拡充

“見まもり機能”を
GTH(暖房付き給湯器)に搭載

“AIスピーカー対応”拡充

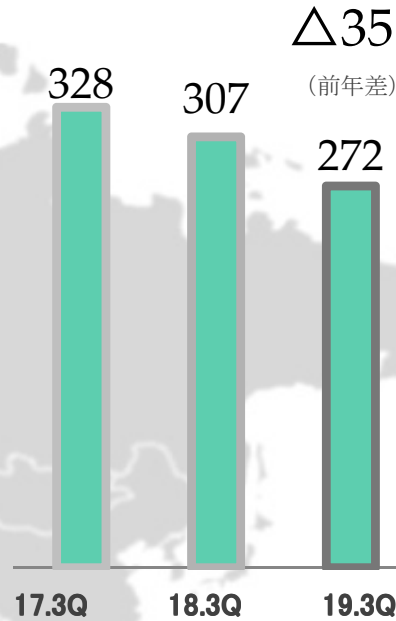
マルチグリル普及による「ラク家事」
ビルトインコンロ「プログレ」

2019年12月期 第3四半期累計 海外事業 エリア別売上高

【単位:億円】

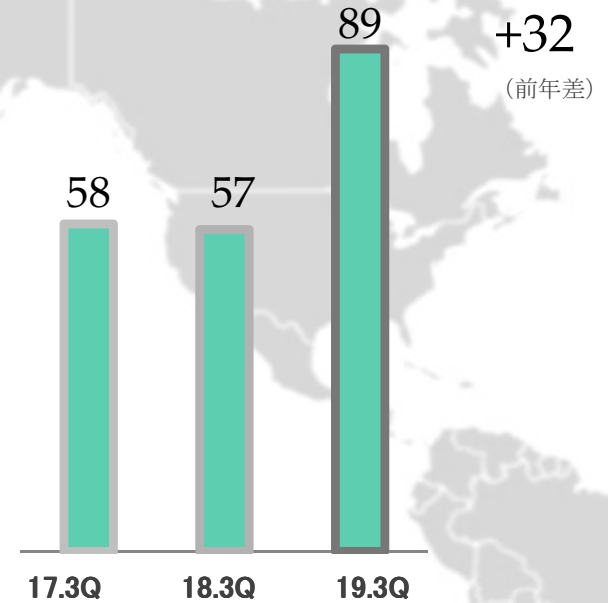
中国

- ネット販売強化
- 暖房・業用商材拡販



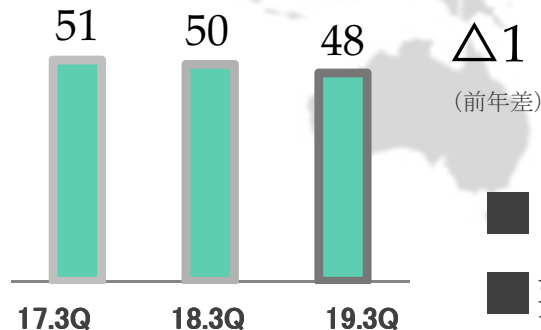
北米

- タンクレスの拡販
- 暖房・業用商材拡販



豪州

- タンクレスの拡販
- 業用商材拡販



2019年12月期 第3四半期累計 海外事業 エリア別営業利益

(単位) 億円	2Q累計	3Q累計	備考	
中国	0.1	△1.5	市況の悪化	■生産効率化と販管費削減するも、市況悪化をカバーできず
北米	△0.7	0.2	暖房業用	■暖房事業・業用事業が順調に推移し黒字化
豪州	0.6	1.8	業用	■家庭用・業用共に販売堅調
他	△2.5	△3.9	その他	■M&A関連費用等
合計	△2.4	△3.3		

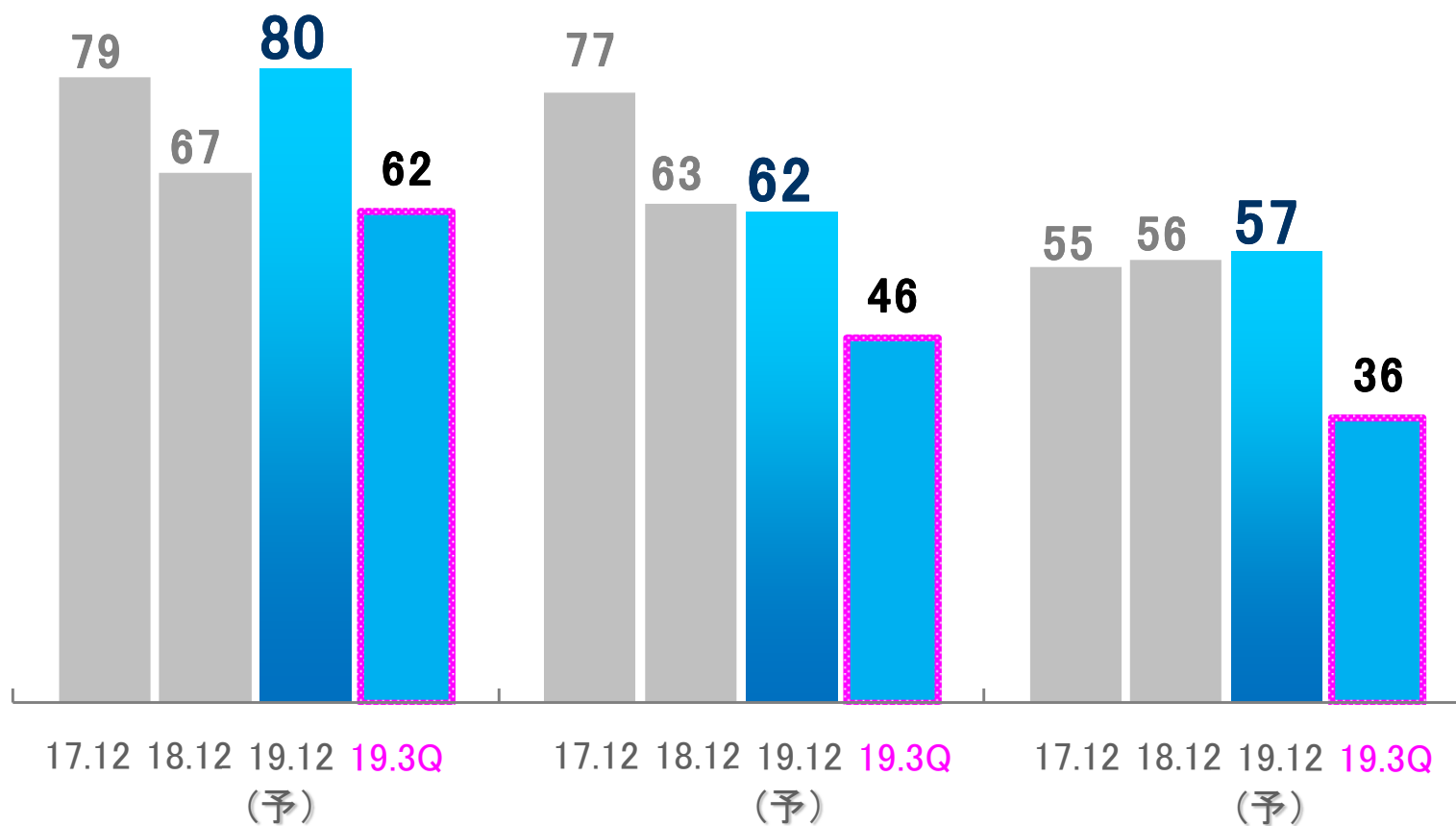
2019年 設備投資・減価償却費・研究開発費

【単位:億円】

設備投資

減価償却費

研究開発費



※減価償却費はのれん、商標権、顧客関連資産の償却費除く

株主還元方針

2020年までの総還元性向50%を維持

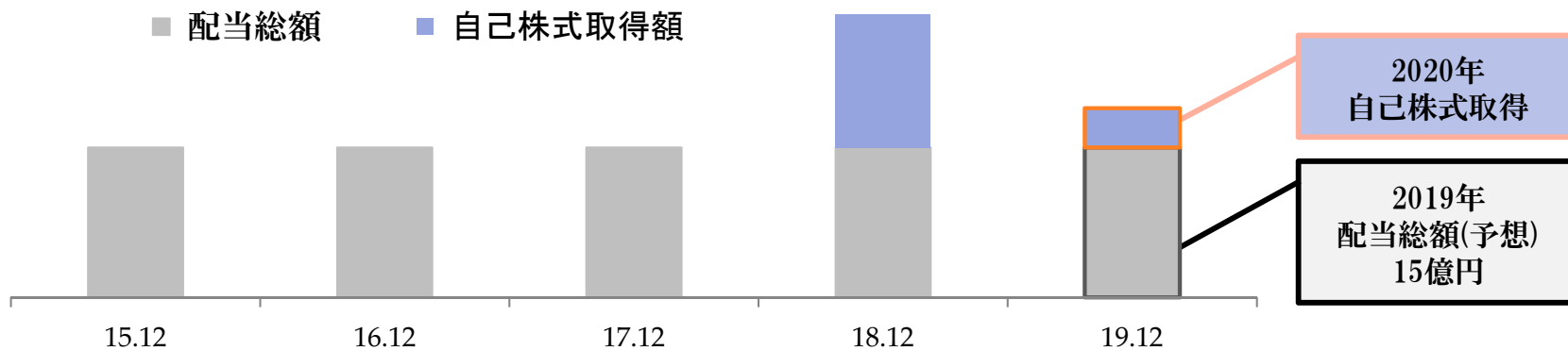
方針	現中期経営計画終了まで (2018~2020年)	2019年度
----	-----------------------------	--------

1. 配当方針

総還元性向50%

2. 自社株取得方針

*19年計画親会社株主に帰属する当期純利益38億円の50%=19億円を還元



総還元性向	—	32.9%	28.3%	50.0%	172.7%
-------	---	-------	-------	-------	--------

新しい幸せを、わかすこと。

人と地球の笑顔に向けて
暮らしの感動をお届けするノーリツグループ

IRに関するお問い合わせ先
株式会社ノーリツ 経営管理本部
コーポレートコミュニケーション部

TEL: 078-334-2801

<https://www.noritz.co.jp/company/ir/>